

■三宮周辺地区の目指すべき方向性について（上位計画等における三宮周辺地区の位置づけ）

上位計画や各部門別計画をもとにした三宮周辺地区の位置づけを整理し、同地区の目指すべき方向性、取り組むべき内容を抽出する。

○：各計画における三宮周辺地区を含む位置づけ、●：三宮周辺地区における位置づけ

	交通	景観	にぎわい	産業	観光	防災	環境	その他（文化・歴史）
三宮周辺地区の 目指すべき方向性 と取り組むべき内容	公共交通中心の交通体系を促進する神戸最大の交通結節拠点 ・公共交通相互の円滑な乗換 ・駅前広場整備などの交通結節性強化 ・3層ネットワークの強化、更なる回遊性向上 ・自転車利用環境向上 ・新たな移動手段の整備	神戸の玄関口にふさわしい風格ある都市空間 ・ランドマークの創出 ・公共空間のデザイン向上 ・海や山を望む眺望景観 ・視点場の整備・演出	神戸を代表する魅力ある商業等集積と賑わい空間 ・神戸ならではの商業機能集積 ・道路空間やオープンスペースを活用した賑わい形成 ・滞留空間の確保	都市間競争を見据えた神戸の魅力をアピールする多様な都市機能集積拠点 ・神戸市内の先端産業機能の中核管理機能などの業務機能の集積 ・商業機能の高度化や魅力向上 ・情報発信の強化	多様な観光資源を有する国際港都のおもてなし拠点 ・北野、旧居留地、ウォーターフロント等の観光玄関口にふさわしいおもてなし機能・空間整備 ・観光案内所等の情報発信機能等の整備・充実	災害時にも安全・安心が確保された都心核 ・高度成長期に形成された都市基盤施設の適切な維持・機能更新 ・建物の耐震化 ・一時避難場所や帰宅困難者を見据えた退避場所の確保	適切な緑、水による快適な都市環境と都市核における低炭素化の拠点 ・計画的な風の道形成によるヒートアイランド現象の緩和 ・高密度に都市機能が集積する都心核ならではの低炭素化施策の推進	文化芸術、交流機能等の活用による神戸の魅力の発信拠点 ・神戸の文化、資源、魅力等を発信する文化機能等の充実 ・都心核の人・モノ・情報等の集積を背景とした多様なレベルの交流機能整備 ・ユニバーサルデザインに配慮した施設等の整備

上位計画	○交通結節機能の強化、公共交通機関の乗り継ぎ円滑化 ○公共交通利用促進、都心への自動車流入・通過抑制 ●神戸の玄関口にふさわしい風格のある空間を備え、総合的な再整備を推進 ●低炭素社会への対応や回遊性向上のため、歩行者動線の整備や環境にやさしい公共交通機関導入を推進 ●自転車利用環境整備推進	○特徴的なまちなみを有する地区での地域との協働による景観形成 ○都市のシンボルとなる歴史的建造物等の保全・活用 ○特色ある夜間景観の形成 ○海や山を望む眺望景観の保全・育成 ○屋外広告物のデザイン等の向上 ○地域特性をふまえた景観形成基準やガイドラインの充実	●中枢管理機能や神戸ならではの商業機能の集積を促進し、神戸の玄関口にふさわしい都市空間を形成 ●オープンカフェなどまちのにぎわいや地域活性化のための道路空間の利活用を推進	●住宅・商業・工業・文化・観光・レクリエーション・広域交通機能など多様な都市機能の集積・活性化による神戸の魅力を国内外に発信 ○駅周辺での商業・業務機能を強化、共同住宅立地誘導	○オンリーワンの観光資源充実 ○国際港都の歴史に基づくみやまの観光資源の魅力向上 ○観光案内機能の充実	○都市基盤施設の長寿命化 ○災害発生時にも機能する交通ネットワークの確保 ○建築物の耐震化、不特定多数利用施設の安全性確保	○一定の緑地量を確保、緑の質の向上 ○公園、道路、水辺空間整備などヒートアイランド対策推進 ○エネルギーの効率的な利用を普及・促進と、都市基盤施設等の更新・整備・活用	○文化芸術がもつ創造性を感ずる中心地域・界隈を形成 ○映画、ジャズ、洋菓子など「発祥の地」を活用した都市ブランドの向上
------	--	--	--	---	---	---	---	--

部門別計画	【都市づくりの基本理念】 世界とふれあう市民創造都市 【三宮周辺地区の位置づけ】 都心核(高度商業・業務地)							
神戸市都市計画マスタープラン 平成 23 年 3 月 (目標年次: 2025 年)	●公共交通機関の乗換えの円滑化、オープンスペース確保、駅前広場の再編整備など三宮周辺地区を大改造 ●歩行者動線整備、新たな公共交通の導入による回遊性向上	●良好な景観の形成 ●神戸の玄関口にふさわしい風格ある都市空間の形成	●交流・融合の場となるオープンスペースの創出	●商業・業務機能の集積		○老朽化に対応した適正な維持・更新など都市基盤の機能強化 ○建物の耐震化の推進 ○河川洪水、津波・高潮などの浸水に対する防災機能強化	●緑やゆとりある市街地を戦略的に形成 ●風の道形成や多様な緑化によるヒートアイランド現象緩和 ○エネルギーマネジメントや未利用・再生エネルギー活用による低炭素化推進	●文化・交流機能の集積 ●居住機能は商業・業務機能とのバランスを考慮し適切に誘導 ○わかりやすい案内サイン等の整備

	【めざす姿の全体将来像】 創造都市戦略「デザイン都市・神戸」を具現化するリーディングエリア							
「港都 神戸」 ランドデザイン 平成 23 年 3 月 (目標年次: 20~30 年後)	●三宮駅等の交通結節機能強化など公共交通利用促進 ●三宮駅〜ウォーターフロント間にBRT、LRTなどの新たな公共交通を導入 ●誰もが、わかりやすく、便利で、快適に利用できるシンボリックな駅前空間を構築 ○コミュニティサイクルの運用	○海・まち・山を見晴らすことのできる眺望点や眺望路を定め、神戸を象徴する眺望景観を保全育成 ○個性をいかしたデザインコードを設定し、公共空間のデザインを向上 ●三宮駅の新駅ビルにおいて新たなランドマークを創出	○オープンスペースなどの空間活用によるにぎわいの創出	○商業・業務・観光・居住機能などの導入を図り、新たな創造産業・知識産業を創出	○情報発信手段の充実（多言語化の充実など）		○オープンスペースなどの空間整備などにより都市の環境創造に貢献	○市内だけでなく、市外、国外にむけて、誰もが簡単でわかりやすいユニバーサルデザインの視点から情報発信

神戸の都心の『未来の姿』(将来ビジョン)	三宮周辺地区の目指すべき姿(目標・方向性)							
----------------------	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--

中央区計画	「くらす魅力、つどう魅力、多彩な個性が響きあう都市 中央区」の実現に向けた取り組み内容							
-------	---	--	--	--	--	--	--	--

	【部門別計画】 上位計画と連携・整合し、計画の推進を図るキーワードを抽出							
その他 部門別計画	○神戸市総合交通計画 ・交通結節点の機能強化 ○みちづくり計画 ・人にやさしいみちづくり ・回遊性の向上 ○自転車利用環境総合計画 ・駐輪対策の推進	○神戸らしい景観づくりの指針 ・眺望景観の形成 ・シンボル・ランドマークの活用 ○神戸市夜間景観形成実施計画 ・夜間景観の整備		○商業施設の連携強化(神戸市中小企業活性化プログラム)	○神戸観光プラン ・情報発信手段の充実 ・観光案内機能の充実	○地域防災計画 ・防災拠点の整備 ・耐震化の推進 ・情報発信手段の充実	○神戸市スマート都市づくり計画 ・環境価値の向上 ・多様な都市機能が集積・調和した複合機能地の形成	○神戸市バリアフリー基本構想 ・ユニバーサルデザインの推進